



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場会社名 ハウス食品グループ本社株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2810 URL http://housefoods-group.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦上 博史  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 柴田 亮 (TEL) 03-5211-6039  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 平成28年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	136,975	21.9	5,351	32.3	5,377	12.2	4,208	42.6
28年3月期第2四半期	112,375	△1.8	4,044	1.6	4,791	3.4	2,951	5.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 675百万円(△49.2%) 28年3月期第2四半期 1,329百万円(△74.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	40.98	—
28年3月期第2四半期	28.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	346,344	258,965	65.6	2,211.91
28年3月期	349,427	260,329	65.5	2,231.86

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 227,283百万円 28年3月期 228,812百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年3月期	—	15.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	285,300	17.9	11,000	2.1	11,500	△5.4	7,300	△67.7
								71.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 1社(社名) 株式会社ギャバン、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	102,758,690株	28年3月期	102,758,690株
29年3月期2Q	4,674株	28年3月期	237,762株
29年3月期2Q	102,683,430株	28年3月期2Q	102,755,994株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・その他、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	13
(企業結合等関係)	15
4. 補足情報	16
(1) 業績の状況	16
(2) グループ会社数	17
(3) 連結損益計算書の状況	17
(4) 連結貸借対照表の状況	19
(5) 連結キャッシュ・フローの状況	19
(6) 設備投資の状況	20
(7) 減価償却費の状況	20
(8) 主要経営指標等	20
(9) 通期目標	21

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経営環境は、国際経済の不確実性が高まるなど先行きへの不透明感が強まる一方、国内においても少子高齢化や生産人口の減少を受け、市場の成熟化が一段と進展しております。食品業界におきましても、一部で消費マインドの停滞がみられ、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは、前連結会計年度より開始した第五次中期計画の2年目を迎え、“「食で健康」クオリティ企業への変革”をテーマに、国内事業の収益力強化と新規需要の創出、海外事業の成長加速に向けた施策を進めております。

売上面につきましては、香辛・調味加工食品事業が好調に推移したことに加え、(株)壺番屋及び(株)ギャバンの新規連結効果が寄与したことで、為替の影響による海外関係会社の円換算額の減少を吸収した結果、第2四半期連結累計期間の売上高は1,369億75百万円、前年同期比21.9%の増収となりました。

利益面につきましては、増収効果に加え、マーケティングコストの効果的運用を徹底したことなどにより、営業利益は53億51百万円、前年同期比32.3%の増益となりました。経常利益は53億77百万円、前年同期比12.2%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、(株)ギャバン株式の追加取得に伴う負ののれん発生益や段階取得に係る差益などの特別利益が増加したことなどから42億8百万円、前年同期比42.6%の増益となりました。

セグメント別の業績の概況（セグメント間取引消去前）は、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメント	売上高		営業利益 (セグメント利益又は損失(△))	
	金額(百万円)	前年同期比(%)	金額(百万円)	前年同期比(%)
香辛・調味加工食品事業	62,333	109.4	3,619	156.6
健康食品事業	17,852	96.4	1,130	116.1
海外食品事業	8,609	93.9	767	119.1
外食事業	25,422	700.7	△97	—
その他食品関連事業	30,178	100.6	434	—
小計	144,394	122.1	5,854	150.7
調整(消去)	△7,418	—	△503	—
合計	136,975	121.9	5,351	132.3

(注) 1. 調整(消去)の内容は、セグメントに配分していない損益およびセグメント間取引に係る相殺消去であります。

2. 前連結会計年度より、各セグメントへの配分方法および区分方法を変更しております。詳細は、P13「3. 四半期連結財務諸表(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご覧ください。

#### <香辛・調味加工食品事業>

当事業セグメントは、「食の外部化」などの事業を取り巻く環境変化に対し、「より健康、より上質、より簡便、より適量」にフォーカスした製品・サービスの提供を通じて、「既存領域の強化」および「新規領域の展開」に取り組んでおります。

ルウカレー、レトルトカレーは、前年同期に発生した価格改定に伴う一時的な需要の停滞が解消し、主力品が販売を伸ばしたほか、「プロクオリティ」などのお客ニーズに対応した製品の市場導入を進めました。

以上のほか、当第2四半期連結会計期間より(株)ギャバンを連結業績に組み入れたこともあり、香辛・調味加工食品事業の売上高は623億33百万円、前年同期比9.4%の増収、営業利益は36億19百万円、前年同期比56.6%の増益となりました。

#### <健康食品事業>

当事業セグメントは、コストコントロールの徹底による主力製品の収益改善と成長に向けた仕込みに取り組んでおります。

「ウコンの力」は、お客様の飲酒シーンが多様化する中でライトユーザーの需要が軟調に推移し、シリーズ全体の売上は前年を下回りました。ビタミン製品は、PET製品が低調で減収となりましたが、収益基盤の強化に向けて育成に努めた「1日分のビタミン」は、お客様のご支持をいただき伸ばいたしました。

以上の結果、健康食品事業の売上高は178億52百万円、前年同期比3.6%の減収となりました。利益面ではマーケティングコストの効果的運用を徹底したことにより、営業利益は11億30百万円、前年同期比16.1%の増益となりました。

#### <海外食品事業>

当事業セグメントは、重点3エリア（米国・中国・東南アジア）における事業拡大のスピードアップと収益力強化に取り組んでおります。

米国事業は、健康志向の広がりを背景として、オーガニック豆腐や業務用製品などの高付加価値製品が幅広く取り扱いを伸ばしております。

中国事業は、沿岸部を中心として、家庭用と業務用の両輪から日本式カレーの浸透に努めております。

東南アジア事業は、タイにおける機能性飲料事業が好調に推移しております。

なお、米国事業、中国事業とも円高による影響で円換算では減収となりましたが、現地通貨ベースでは着実な成長を続け、増収となりました。また東南アジア事業は、前期が決算日の変更による9カ月の変則決算であった影響を受けております。

以上の結果、海外食品事業の売上高は86億9百万円、前年同期比6.1%の減収、営業利益は7億67百万円、前年同期比19.1%の増益となりました。

#### <外食事業>

当事業セグメントは、国内外でのカレーレストランの運営を通じて、カレーの世界をさらに広げるべく取り組んでおります。

㈱壺番屋は、既存店の売上強化を最重点課題としてQSC向上や店舗魅力の向上に向けた様々な取組を行い、堅調に推移いたしました。

以上の結果、外食事業の売上高は、㈱壺番屋の新規連結効果が大きく寄与し254億22百万円、前年同期比600.7%の増収となりました。利益面では㈱壺番屋のグループ化に伴うのれん等の償却負担もあり、97百万円の営業損失（前年同期は営業利益18百万円）となりました。

なお、平成27年12月に㈱壺番屋をグループに迎えて以降、両社の役割分担や経営資源の最適配分について検討を進めてまいりました結果、これまで当社国際事業本部主導で運営してまいりました中国、台湾におけるレストラン事業を㈱壺番屋主導の体制へ再編することを決定しております。

#### <その他食品関連事業>

当事業セグメント各社は、各機能の強化とグループ間シナジーの追求によるグループ総合力の向上に努めております。

運送・倉庫事業を営むハウス物流サービス(株)は、前期に引き続き、事業構造の見直しやコスト競争力の強化など、収益構造の強化に向けた取組を推進しております。

コンビニエンスストア向けの総菜等製造事業を営む(株)デリカシェフは、総菜新工場稼働に伴う初期コストが解消したほか、生産能力増強と生産効率向上に努め、収益力を改善しております。

平成28年4月に(株)堀江大和屋を吸収合併した(株)ヴォークス・トレーディングは、経営資源の集約化、調達・販売力の強化に取り組んでおります。

以上の結果、その他食品関連事業の売上高は301億78百万円、前年同期比0.6%の増収、営業利益は4億34百万円（前年同期は営業損失62百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、3,463億44百万円となり、前連結会計年度末に比べて30億83百万円の減少となりました。

流動資産は、㈱ギャバンを連結子会社化した影響等により商品及び製品や受取手形及び売掛金が増加したことなどから、78億20百万円増加の1,267億67百万円となりました。固定資産は、㈱ギャバンを連結子会社化した影響等により土地や建物及び構築物が増加した一方で、投資有価証券や長期預金が増加したことなどから、109億3百万円減少の2,195億77百万円となりました。

負債は873億79百万円となり、前連結会計年度末に比べて17億18百万円の減少となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が増加した一方で、未払金が増加したことなどから、1億15百万円減少の506億98百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債が取崩により減少したことなどから、16億3百万円減少の366億81百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により増加した一方、為替換算調整勘定が減少したことや、保有する投資有価証券の時価下落によりその他有価証券評価差額金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて13億64百万円減少の2,589億65百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は65.6%（前連結会計年度末は65.5%）、1株当たり純資産は2,211円91銭（前連結会計年度末は2,231円86銭）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況および最近の経営環境などをふまえて、平成28年6月24日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。

平成29年3月期通期連結業績予想の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	295,800	10,400	11,400	6,900	67.30
今回修正予想 (B)	285,300	11,000	11,500	7,300	71.04
増減額 (B - A)	△10,500	600	100	400	—
増減率 (%)	△3.5	5.8	0.9	5.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	241,893	10,775	12,152	22,632	220.48

(注) 1. 上記の予想は、本資料発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績・結果は予想数値あるいは見通しと異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、第1四半期連結会計期間において、㈱ギャバンの普通株式に対する公開買付けを通じて同社株式を取得いたしました。この結果、㈱ギャバンに対する当社の議決権所有割合は50%超となったため、第1四半期連結会計期間より、同社および同社の連結子会社であるギャバンスパイスマニュファクチャリング株式有限責任会社を連結の範囲に含めております。

なお、㈱ギャバンの資本金の額が当社の資本金の額の100分の10に相当する額以上であることから、同社は当社の特定子会社に該当いたします。

また、当第2四半期連結会計期間において、当社は㈱ギャバンの普通株式を追加取得し、完全子会社化いたしました。詳細は、P15「3. 四半期連結財務諸表(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」をご参照ください。

当連結子会社の取得日は平成28年6月30日であるため、当第2四半期連結累計期間においては平成28年7月1日から平成28年9月30日までの業績が含まれております。

また、当第2四半期連結会計期間の属する連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与える見込みです。当該影響の概要は、連結貸借対照表における総資産および総負債額の増加、連結損益及び包括利益計算書における売上高等の増加および連結キャッシュ・フロー計算書における営業活動によるキャッシュ・フロー等の増減であります。

さらに、平成28年4月に、㈱ヴォークス・トレーディングを存続会社、㈱堀江大和屋を消滅会社とする吸収合併を行いました。この結果、㈱堀江大和屋は消滅したため、連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」および「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

#### (4) 追加情報

##### (連結子会社の社名の変更)

㈱ヴォークス・トレーディングインドネシアは、平成28年5月に㈱ハウス&ヴォークスインドネシアへと社名を変更いたしました。

##### (表示方法の変更)

###### (レストラン経営にかかる表示方法の変更)

前連結会計年度より、一部の連結子会社において売上原価に計上していたレストラン経営にかかる店舗諸経費等について、販売費及び一般管理費に計上する方法に変更しております。

この変更は、㈱老番屋グループを連結の範囲に含め、新たに外食事業セグメントを設けたことにより、グループの業績を統一した方法で管理し、営業活動の成果をより適切に表示するために行ったものであります。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替を行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益及び包括利益計算書の売上原価が2,271百万円減少し、売上総利益および販売費及び一般管理費が同額増加しておりますので、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

###### (四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

前連結会計年度より、「営業外収益」の「その他」に含めていた「受取家賃」について、金額的重要性が増したため独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替を行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益及び包括利益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた153百万円は、「受取家賃」0百万円、「その他」153百万円として組み替えております。

##### (繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	44,128	44,596
受取手形及び売掛金	43,140	45,707
有価証券	10,009	9,238
商品及び製品	9,628	12,260
仕掛品	1,563	1,857
原材料及び貯蔵品	3,723	4,486
繰延税金資産	2,397	2,786
その他	4,499	5,979
貸倒引当金	△141	△141
流動資産合計	118,947	126,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,848	29,095
機械装置及び運搬具(純額)	11,722	11,847
土地	28,851	30,409
リース資産(純額)	4,400	4,217
建設仮勘定	1,140	348
その他(純額)	2,261	2,097
有形固定資産合計	77,223	78,013
無形固定資産		
のれん	16,542	14,752
商標権	26,570	26,245
ソフトウェア	2,109	1,965
契約関連無形資産	28,753	28,270
ソフトウェア仮勘定	89	233
その他	736	680
無形固定資産合計	74,799	72,145
投資その他の資産		
投資有価証券	68,800	62,028
長期貸付金	360	358
繰延税金資産	2,247	2,231
長期預金	2,500	500
退職給付に係る資産	285	278
破産更生債権等	719	689
その他	4,441	4,206
貸倒引当金	△893	△870
投資その他の資産合計	78,458	69,420
固定資産合計	230,480	219,577
資産合計	349,427	346,344

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,749	20,237
電子記録債務	1,540	1,088
短期借入金	6,849	7,375
リース債務	733	679
未払金	13,887	12,457
未払法人税等	2,810	2,150
賞与引当金	129	232
役員賞与引当金	68	47
株主優待引当金	75	65
資産除去債務	3	—
その他	5,971	6,367
流動負債合計	50,814	50,698
固定負債		
長期借入金	824	720
リース債務	3,745	3,597
長期未払金	319	329
繰延税金負債	25,330	23,959
債務保証損失引当金	6	4
退職給付に係る負債	4,668	4,599
資産除去債務	711	717
その他	2,681	2,756
固定負債合計	38,284	36,681
負債合計	89,098	87,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,927	23,447
利益剰余金	176,898	179,567
自己株式	△516	△11
株主資本合計	210,257	212,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,294	16,881
繰延ヘッジ損益	△19	△137
為替換算調整勘定	2,410	△515
退職給付に係る調整累計額	△2,128	△1,899
その他の包括利益累計額合計	18,555	14,330
非支配株主持分	31,517	31,682
純資産合計	260,329	258,965
負債純資産合計	349,427	346,344

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	112,375	136,975
売上原価	64,591	77,091
売上総利益	47,784	59,884
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	5,064	4,763
運送費及び保管費	3,378	4,539
販売手数料	1,151	1,198
販売促進費	14,559	15,020
給料手当及び賞与	7,754	10,891
役員賞与引当金繰入額	47	49
減価償却費	708	1,884
のれん償却額	81	1,789
賃借料	1,346	2,041
試験研究費	1,740	1,847
その他	7,912	10,511
販売費及び一般管理費合計	43,740	54,533
営業利益	4,044	5,351
営業外収益		
受取利息	257	193
受取配当金	331	336
持分法による投資利益	243	24
受取家賃	0	370
為替差益	26	—
その他	153	119
営業外収益合計	1,011	1,043
営業外費用		
支払利息	50	41
賃貸費用	—	316
為替差損	—	503
その他	214	157
営業外費用合計	264	1,017
経常利益	4,791	5,377

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	0	6
店舗売却益	—	92
段階取得に係る差益	—	448
負ののれん発生益	—	1,018
その他	0	70
特別利益合計	0	1,636
<b>特別損失</b>		
固定資産売却損	0	4
固定資産除却損	135	117
減損損失	—	533
その他	4	50
特別損失合計	139	705
税金等調整前四半期純利益	4,652	6,308
法人税等	1,621	1,139
四半期純利益	3,031	5,169
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,951	4,208
非支配株主に帰属する四半期純利益	81	961
<b>その他の包括利益</b>		
その他有価証券評価差額金	△1,699	△1,376
繰延ヘッジ損益	△50	△187
為替換算調整勘定	242	△3,124
退職給付に係る調整額	△243	213
持分法適用会社に対する持分相当額	48	△19
その他の包括利益合計	△1,702	△4,493
四半期包括利益	1,329	675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,253	△17
非支配株主に係る四半期包括利益	76	692

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,652	6,308
減価償却費	3,052	4,514
のれん償却額	81	1,789
減損損失	—	533
持分法による投資損益(△は益)	△243	△24
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△448
負ののれん発生益	—	△1,018
貸倒引当金の増減額(△は減少)	146	△34
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20	△20
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	△9
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	—	△2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△25	107
受取利息及び受取配当金	△588	△529
支払利息	50	41
為替差損益(△は益)	11	321
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△6
固定資産売却損益(△は益)	0	2
固定資産除却損	135	117
店舗売却損益(△は益)	—	△92
売上債権の増減額(△は増加)	16	△1,044
たな卸資産の増減額(△は増加)	△646	△1,597
仕入債務の増減額(△は減少)	180	1,727
未払賞与の増減額(△は減少)	8	58
その他の資産の増減額(△は増加)	△332	△1,905
その他の負債の増減額(△は減少)	△1,323	△1,284
小計	5,154	7,504
利息及び配当金の受取額	805	549
利息の支払額	△57	△40
法人税等の支払額	△1,787	△2,969
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,115	5,043

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△806	△2,975
定期預金の払戻による収入	34	2,168
有価証券の取得による支出	△3,308	△306
有価証券の売却による収入	11,887	6,906
有形固定資産の取得による支出	△3,423	△4,169
有形固定資産の売却による収入	2	2
店舗売却による収入	—	275
無形固定資産の取得による支出	△288	△332
投資有価証券の取得による支出	△5,076	△2,040
投資有価証券の売却による収入	0	300
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△4,458
貸付けによる支出	△0	—
子会社の清算による収入	—	30
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△978</b>	<b>△4,599</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	36,570	34,599
短期借入金の返済による支出	△36,172	△34,263
リース債務の返済による支出	△280	△404
長期借入れによる収入	120	300
長期借入金の返済による支出	△111	△126
自己株式の取得による支出	△2	△1
子会社の自己株式の取得による支出	—	△902
子会社の所有する親会社株式の売却による収入	—	1,009
配当金の支払額	△1,543	△1,535
非支配株主への配当金の支払額	△8	△647
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△20	△113
連結子会社の第三者割当増資による収入	—	29
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,446</b>	<b>△2,055</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	103	△1,160
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>1,793</b>	<b>△2,770</b>
現金及び現金同等物の期首残高	43,832	44,156
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,625	41,385

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	56,725	18,420	9,063	3,628	24,511	112,348	—	112,348	27	112,375
セグメント間の内部売上高又は振替高	233	100	109	—	5,494	5,935	—	5,935	△5,935	—
計	56,958	18,520	9,172	3,628	30,005	118,283	—	118,283	△5,909	112,375
セグメント利益又は損失(△)	2,310	974	645	18	△62	3,884	—	3,884	159	4,044

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益159百万円、セグメント間取引消去0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	60,363	17,761	8,510	25,416	24,896	136,946	—	136,946	29	136,975
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,970	90	99	6	5,282	7,447	—	7,447	△7,447	—
計	62,333	17,852	8,609	25,422	30,178	144,394	—	144,394	△7,418	136,975
セグメント利益又は損失 (△)	3,619	1,130	767	△97	434	5,854	—	5,854	△503	5,351

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ㈱の損益△502百万円、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、㈱ギャバンの普通株式を追加取得し、連結範囲に含めた事により、前連結会計年度の末日に比べ、「香辛・調味加工食品事業」のセグメント資産が10,217百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、店舗資産および賃貸資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、533百万円計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間において、㈱ギャバンの普通株式を追加取得し、連結範囲に含めた事により、「香辛・調味加工食品事業」のセグメントにおいて、負ののれん発生益を1,018百万円計上しております。

なお、負ののれん発生益の金額は、当第2四半期連結累計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分方法の変更)

前連結会計年度において、㈱壺番屋の普通株式を追加取得し、連結範囲に含めた事により、報告セグメント「外食事業」を追加しております。これに伴い、従来「海外食品事業」に含まれていた、ハウスフーズアメリカCorp.の外食事業、ハウスレストラン管理(上海)㈱、ハウス美家レストラン管理(北京)㈱、ハウスレストラン管理(広州)㈱、台湾カレーハウスレストラン㈱、韓国カレーハウス㈱を「外食事業」へ含めております。

また、外食事業セグメント新設に伴い、「海外事業」から「海外食品事業」へ名称変更をしております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法にて記載しております。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

子会社株式の追加取得

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称およびその事業の内容

結合当事企業の名称 (株)ギャバン (当社の連結子会社)

事業の内容 香辛料の輸入・製造販売および輸入食品販売

② 企業結合日

平成28年8月10日 (みなし取得日平成28年7月1日)

③ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

④ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑤ その他取引の概要に関する事項

当社は、平成28年6月30日付で(株)ギャバンの普通株式を公開買付けにより取得し、同社の特別支配株主となりました。その後、当社は会社法179条第1項に基づく株式等売渡請求を実施し、これにより当社は(株)ギャバンを完全子会社といたしました。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理しております。

(3) 子会社株式の追加取得に関する事項

取得原価および対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	107百万円
<hr/>		
取得原価		107百万円

4. 補足情報

当社は、平成27年12月に㈱吉番屋の株式を追加取得して連結子会社化したことに伴い、セグメント区分の見直しを行い、新たに「外食事業」セグメントを追加しております。これに伴い、「海外事業」を「海外食品事業」へ名称変更し、当事業セグメントに区分しておりましたレストラン事業を「外食事業」へ移管しております。また、各セグメント実績をセグメント間取引消去前の数値を記載する方法へ変更しております。

(1) 業績の状況

《連結》

(単位：百万円)

	16.3期第2四半期		17.3期第2四半期		16.3期 通期		17.3期 通期修正目標	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	112,375	98.2%	136,975	121.9%	241,893	104.5%	285,300	117.9%
営業利益	4,044	101.6%	5,351	132.3%	10,775	124.0%	11,000	102.1%
経常利益	4,791	103.4%	5,377	112.2%	12,152	110.9%	11,500	94.6%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,951	105.7%	4,208	142.6%	22,632	324.6%	7,300	32.3%
包括利益	1,329	25.1%	675	50.8%	12,787	58.7%	—	—

《事業セグメント別売上高の状況》

売上高	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	56,746	50.5%
健康食品事業	18,191	16.2%
海外事業	12,900	11.5%
その他食品関連事業	24,511	21.8%
調整額	27	0.0%

(16.3期以降に適用するセグメントベース)

売上高	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	56,958	50.7%	62,333	45.5%	120,018	49.6%	133,100	46.7%
健康食品事業	18,520	16.5%	17,852	13.0%	34,523	14.3%	34,300	12.0%
海外食品事業	9,172	8.2%	8,609	6.3%	18,577	7.7%	18,100	6.3%
外食事業	3,628	3.2%	25,422	18.6%	18,312	7.6%	51,000	17.9%
その他食品関連事業	30,005	26.7%	30,178	22.0%	62,718	25.9%	63,600	22.3%
調整額	△ 5,909	△ 5.3%	△ 7,418	△ 5.4%	△ 12,256	△ 5.1%	△ 14,800	△ 5.2%

《事業セグメント別営業利益の状況》

営業利益	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	2,309	57.1%
健康食品事業	904	22.3%
海外事業	734	18.2%
その他食品関連事業	△ 62	△ 1.5%
調整額	159	3.9%

(16.3期以降に適用するセグメントベース)

営業利益	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	2,310	57.1%	3,619	67.6%	7,924	73.6%	8,900	80.9%
健康食品事業	974	24.1%	1,130	21.1%	1,398	13.0%	1,600	14.6%
海外食品事業	645	15.9%	767	14.4%	1,381	12.8%	1,200	10.9%
外食事業	18	0.5%	△ 97	△ 1.8%	44	0.4%	△ 250	△ 2.3%
その他食品関連事業	△ 62	△ 1.5%	434	8.1%	101	0.9%	750	6.8%
調整額	159	3.9%	△ 503	△ 9.4%	△ 73	△ 0.7%	△ 1,200	△ 10.9%

## (2) グループ会社数

	16.3期第2四半期	17.3期第2四半期	16.3期
連結子会社数	28社	36社	34社
国内	13社	14社	14社
海外	15社	22社	20社
持分法適用関連会社	5社	3社	3社
国内	2社	1社	1社
海外	3社	2社	2社

## 《17.3期第2四半期主要子会社実績》

(単位：百万円)

	売上高		営業利益		四半期純利益	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
ハウス食品(株)	60,337	103.9%	3,500	132.9%	2,438	126.8%
ハウスウェルネスフーズ(株)	17,854	96.3%	1,132	115.7%	1,143	133.8%
ハウスフーズアメリカ社(連結)	5,502	87.9%	526	103.3%	331	107.0%
(株)荳番屋(連結)	22,515	—	2,471	—	1,736	—

※連結対象期間 ハウスフーズアメリカ社：2016年1月～6月 (株)荳番屋：2016年3月～8月

## (3) 連結損益計算書の状況

## ① 連結損益計算書

(単位：百万円)

	16.3期第2四半期		17.3期第2四半期		対前期増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率
<b>売上高</b>	<b>112,375</b>	<b>100.0%</b>	<b>136,975</b>	<b>100.0%</b>	<b>24,601</b>	<b>21.9%</b>
《事業セグメント別》※16.3期以降に適用するセグメントベース						
香辛・調味加工食品事業	56,958	50.7%	62,333	45.5%	5,375	9.4%
健康食品事業	18,520	16.5%	17,852	13.0%	△668	△3.6%
海外食品事業	9,172	8.2%	8,609	6.3%	△563	△6.1%
外食事業	3,628	3.2%	25,422	18.6%	21,794	600.7%
その他食品関連事業	30,005	26.7%	30,178	22.0%	173	0.6%
調整額	△5,909	△5.3%	△7,418	△5.4%	△1,510	—
売上原価	64,591	57.5%	77,091	56.3%	12,500	19.4%
販売費・一般管理費	43,740	38.9%	54,533	39.8%	10,793	24.7%
広告宣伝費	5,064	4.5%	4,763	3.5%	△301	△5.9%
運送費及び保管費	3,378	3.0%	4,539	3.3%	1,161	34.4%
販売手数料	1,151	1.0%	1,198	0.9%	47	4.1%
販売促進費	14,559	13.0%	15,020	11.0%	460	3.2%
人件費	9,927	8.8%	14,235	10.4%	4,308	43.4%
試験研究費	1,740	1.5%	1,847	1.3%	108	6.2%
のれん償却額	81	0.1%	1,789	1.3%	1,708	2107.4%
<b>営業利益</b>	<b>4,044</b>	<b>3.6%</b>	<b>5,351</b>	<b>3.9%</b>	<b>1,308</b>	<b>32.3%</b>
営業外収益	1,011	0.9%	1,043	0.8%	32	3.2%
営業外費用	264	0.2%	1,017	0.7%	753	285.6%
<b>経常利益</b>	<b>4,791</b>	<b>4.3%</b>	<b>5,377</b>	<b>3.9%</b>	<b>586</b>	<b>12.2%</b>
特別利益	0	0.0%	1,636	1.2%	1,636	4902703.8%
特別損失	139	0.1%	705	0.5%	566	407.7%
税金等調整前四半期純利益	4,652	4.1%	6,308	4.6%	1,656	35.6%
法人税等	1,621	1.4%	1,139	0.8%	△482	△29.7%
四半期純利益	3,031	2.7%	5,169	3.8%	2,138	70.5%
(内訳)						
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,951	2.6%	4,208	3.1%	1,257	42.6%
非支配株主に帰属する四半期純利益	81	0.1%	961	0.7%	880	1093.1%
<b>四半期包括利益</b>	<b>1,329</b>	<b>1.2%</b>	<b>675</b>	<b>0.5%</b>	<b>△654</b>	<b>△49.2%</b>

## ② 営業利益の主な増減要因（前年同期比較）

（単位：百万円）

売上総利益の増加	12,101
給与手当及び賞与の増加	△ 3,137
のれん償却額の増加	△ 1,708
減価償却費の増加	△ 1,176
運送費及び保管費の増加	△ 1,161
マーケティングコスト(広告宣伝費・販売手数料・販売促進費の合計)の増加	△ 207
その他費用の増加	△ 2,599

## ③ 営業外損益の主な増減内容

（単位：百万円）

	16. 3期第2四半期	17. 3期第2四半期	対前年同期増減
受取利息・有価証券利息	257	193	△ 64
受取配当金	331	336	5
持分法による投資利益	243	24	△ 218
為替差益	26	—	△ 26
受取家賃	0	370	370
その他	153	119	△ 34
営業外収益計	1,011	1,043	32
支払利息	50	41	△ 9
為替差損	—	503	503
賃貸費用	—	316	316
その他	214	157	△ 57
営業外費用計	264	1,017	753

## ④ 特別損益の主な増減内容

（単位：百万円）

	16. 3期第2四半期	17. 3期第2四半期	対前年同期増減
固定資産売却益	0	2	2
投資有価証券売却益	0	6	6
負ののれん発生益	—	1,018	1,018
店舗売却益	—	92	92
段階取得に係る差益	—	448	448
その他	0	70	70
特別利益計	0	1,636	1,636
固定資産売却損	0	4	4
固定資産除却損	135	117	△ 18
減損損失	—	533	533
その他	4	50	47
特別損失計	139	705	566

## (4) 連結貸借対照表の状況

## 《連結貸借対照表の主な増減内容》

(単位：百万円)

	16.3期末		17.3期 第2四半期末		対前期末 増減 金額	主な増減内容
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	118,947	34.0%	126,767	36.6%	7,820	商品及び製品の増加 2,632 受取手形及び売掛金の増加 2,566 原材料及び貯蔵品の増加 763 有価証券の減少 △771
固定資産	230,480	66.0%	219,577	63.4%	△10,903	投資有価証券の減少 △6,772 長期預金の減少 △2,000 のれんの減少 △1,790 建設仮勘定の減少 △792 土地の増加 1,558
<b>資産合計</b>	<b>349,427</b>	<b>100.0%</b>	<b>346,344</b>	<b>100.0%</b>	<b>△3,083</b>	
流動負債	50,814	14.5%	50,698	14.6%	△115	未払金の減少 △1,430 未払法人税等の減少 △660 支払手形及び買掛金の増加 1,947
固定負債	38,284	11.0%	36,681	10.6%	△1,603	繰延税金負債の減少 △1,370 リース債務の減少 △149 長期借入金の減少 △104
<b>負債合計</b>	<b>89,098</b>	<b>25.5%</b>	<b>87,379</b>	<b>25.2%</b>	<b>△1,718</b>	
その他の包括利益 累計額合計	18,555	5.3%	14,330	4.1%	△4,225	為替換算調整勘定の減少 △2,924 その他有価証券評価差額金の減少 △1,413
非支配株主持分	31,517	9.0%	31,682	9.1%	165	
<b>純資産合計</b>	<b>260,329</b>	<b>74.5%</b>	<b>258,965</b>	<b>74.8%</b>	<b>△1,364</b>	
<b>負債純資産合計</b>	<b>349,427</b>	<b>100.0%</b>	<b>346,344</b>	<b>100.0%</b>	<b>△3,083</b>	

## (5) 連結キャッシュ・フローの状況

## 《連結キャッシュ・フローの主な増減内容》

(単位：百万円)

	16.3期第2四半期 累計期間	17.3期第2四半期 累計期間	対前年同期 増減	主な増減内容
営業活動による キャッシュ・フロー	4,115	5,043	928	のれん償却額 1,708 税金等調整前当期純利益 1,656 法人税等の支払額 △1,182 売上債権の増減額 △1,059
投資活動による キャッシュ・フロー	△978	△4,599	△3,620	有価証券の売却による収入 △4,981 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 △4,458 投資有価証券の取得による支出 3,036 有価証券の取得による支出 3,002
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,446	△2,055	△609	子会社の自己株式の取得による支出 △902 非支配株主への配当金の支払額 △640 子会社の所有する親会社株式の売却による収入 1,009
現金及び現金同等物 四半期末残高	45,625	41,385	△4,240	

## (6) 設備投資の状況

《連結》

(単位：百万円)

	16.3期 第2四半期	17.3期 第2四半期
設備投資	2,097	2,551
リース	371	280
合計	2,468	2,830

## (7) 減価償却費の状況

《連結》

(単位：百万円)

	16.3期 第2四半期	17.3期 第2四半期
減価償却費	3,052	4,514
支払リース料	144	162
合計	3,197	4,676

※売買取引に係る方法に準じて資産計上を行っているリース物件の支払リース料相当は「減価償却費」に含めております。

## (8) 主要経営指標等

《連結》

	17.3期第2四半期	16.3期
一株当たり四半期(当期)純利益	40.98 円	220.48 円
一株当たり純資産	2,211.91 円	2,231.86 円
自己資本当期純利益率	—	10.1 %
総資産経常利益率	—	3.8 %
売上高経常利益率	3.9 %	5.0 %
総資本回転率	—	0.76 回
流動比率	250.0 %	234.1 %
固定比率	96.6 %	100.7 %
負債比率	38.4 %	38.9 %
自己資本比率	65.6 %	65.5 %
配当金(1株当たり)	15.00 円	30.00 円
配当性向	36.6 %	13.6 %
従業員数	6,783 人	6,376 人

◎休職者・嘱託・パートを含みません。

## (9) 通期目標

《連結》

(単位：百万円)

	16.3期	17.3期 修正目標	対前期増減
《事業セグメント別》			
香辛・調味加工食品事業	120,018	133,100	13,082
健康食品事業	34,523	34,300	△ 223
海外食品事業	18,577	18,100	△ 477
外食事業	18,312	51,000	32,688
その他食品関連事業	62,718	63,600	882
調整額	△ 12,256	△ 14,800	△ 2,544
<b>売上高</b>	<b>241,893</b>	<b>285,300</b>	<b>43,407</b>
《事業セグメント別》			
香辛・調味加工食品事業	7,924	8,900	976
健康食品事業	1,398	1,600	202
海外食品事業	1,381	1,200	△ 181
外食事業	44	△ 250	△ 294
その他食品関連事業	101	750	649
調整額	△ 73	△ 1,200	△ 1,127
<b>営業利益</b>	<b>10,775</b>	<b>11,000</b>	<b>225</b>
<b>経常利益</b>	<b>12,152</b>	<b>11,500</b>	<b>△ 652</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>22,632</b>	<b>7,300</b>	<b>△ 15,332</b>
<b>包括利益</b>	<b>12,787</b>	<b>-</b>	<b>-</b>

《連結設備投資》

(単位：百万円)

	16.3期	17.3期 修正目標
設備投資	6,757	10,100
リース	503	400
合計	7,260	10,500

《連結減価償却費》

(単位：百万円)

	16.3期	17.3期 修正目標
減価償却費	6,908	9,300
支払リース料	369	600
合計	7,277	9,900